

🍰 Birthday 🍰

ほめてやらねば
人は動かじ、
第2号

豊中市立東丘小学校3年2組学級通信 2020. 4. 21

漢字の学習は筆順が大切です

新3年2組の担任の梅川尚彦です。改めましてよろしくお願ひします！

先日の教科書配布日には、個別に漢字の学習の方法を、短時間ではありますが、お伝えしました。その方法について、来られていない方にもお伝えしようと考え発行しました。

他学級・他学年の保護者の方が見られても、ひらがな・カタカナの学習にも通用しますので、ぜひご家庭でも実践していただければ嬉しいです。

「誰一人取り残さない。」(SDGsの理念であります、僕の教育理念とも一致しています。) 学習方法のあり方を、保護者の皆様と休校中に探っていけたらと願ひます。

◎「初めて」漢字を習う子ども達が意外とつまずくのが筆順です。◎

先日は漢字「世」の筆順指導について、簡単にご紹介しました。

詳しく解説しますと、以下の通りとなります。

- ① 蛍光マーカーを何色でもよいので、用意してください。(僕は青をすすめます。)
- ② 習う漢字(「世」)の一画目を、「いち」と声をだして、お子様に見えるようにして、漢字ノートの右上のマスの、蛍光ペンで書きます。
- ③ 同様に2画目を「に」と声を出して書きます。
- ④ ここでストップをして、「三画目はどこだと思う？」などと、クイズをしてあげてください。(※習う漢字で迷いやすいところを選んであげると盛り上がります。)
- ⑤ お子様間違いをした場合→「おいしい！ちがうよー、では、どこだと思う？」などと、明るく間違いを指摘して、もう一度解答する権利をあげてください。2回目で正解しても3回目で正解しても、同じように下記⑥のように常に誉めて、認めてやってください。
- ⑥ お子様正解をした場合→「すごーい！！初めて習うのに、天才だなあ、、、」などと、ほめてあげてください。大げさなぐらいがちょうどいいです。僕はいつも大げさなので、「ほんとに思ってる？」と我が子にも、去年の6年生の子ども達にも、言われてしまいます。

☆子ども達は本当は「学びたい」「知りたい」生き物です。ほめて、認めて、喜んで、、、自分の親が喜ぶ姿が、子ども達は一番嬉しいです。「前しか見えない・聞こえない」言葉で、子ども達を守り導きましょう。上記の方法、ご理解頂けましたら、幸いです。一例ですので、ご参考になればと思います。喜びの声を頂ければ、僕も次号へ向けて、精進しますね。

子どもたちへ梅川先生からメッセージ

この前、「東町グラウンド」「テニよこ公園」「もくせい公園」を通りかかったら、ぐうぜん、3年2組のおともだちに会いました。まだ、クラスみんなの顔は見えていないから、会えてうれしかったな！ほかのみんなも、ぐうぜん、公園で会ったら、「ひょっとして梅川先生？」と声をかけてね！とくちょうは、しん長がちょっと高くて(177cmです。)、オモシロくないギャグを言うお兄さんのような先生です。みんなと早く会いたいけど、みんながけんこうでいることが一番です。だから、ちょっと、がまんして、べん強したり遊んだりしててね！

みんなと学べる日をとっても楽しみにしています。いっしょに、3年2組を「夢の教室」(ゆめのきょうしつ)にしましょう。！みんなの夢も、いつか、きっと、聞きたいな。またね！！